平成27年11月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月２日

上場会社名	象印マホービン株式会社	上場取引所	東
コード番号	7965	URL	http://www.zojirushi.co.jp
代表者	(役職名) 取締役社長	(氏名) 市川典男	
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員経理部長	(氏名) 真田　修	(TEL)06-6356-2368
四半期報告書提出予定日	平成27年10月２日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成27年11月期第３四半期の連結業績（平成26年11月21日～平成27年８月20日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第３四半期	67,665	17.8	7,904	79.6	8,392	71.3	5,191	87.2
26年11月期第３四半期	57,442	17.2	4,402	327.1	4,900	255.3	2,772	172.1

(注) 包括利益 27年11月期第３四半期　6,989百万円(130.3%)　26年11月期第３四半期　3,034百万円(△14.0%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第３四半期	76.83	―
26年11月期第３四半期	41.03	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第３四半期	82,620	58,447	69.9
26年11月期	75,367	52,563	68.8

(参考) 自己資本 27年11月期第３四半期　57,731百万円　26年11月期　51,833百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	―	4.00	―	6.00	10.00
27年11月期	―	8.00	―		
27年11月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成27年11月期の連結業績予想（平成26年11月21日～平成27年11月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	15.9	9,800	66.7	10,400	51.8	6,200	64.8	91.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―社（社名）　、除外　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年11月期３Ｑ	72,600,000株	26年11月期	72,600,000株
②　期末自己株式数	27年11月期３Ｑ	5,030,177株	26年11月期	5,021,367株
③　期中平均株式数（四半期累計）	27年11月期３Ｑ	67,574,663株	26年11月期３Ｑ	67,584,124株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
４．補足情報 …… 10
（１）所在地別業績 …… 10
（２）海外売上高 …… 10
（３）生産、受注及び販売の状況 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、積極的な経済政策や金融政策を背景に企業収益が改善傾向となり、個人消費についても持ち直しの兆しが見られるなど緩やかな回復傾向で推移し、外国人観光客の増加による消費の底上げも見られました。しかしながら、世界経済の減速が景気を押し下げるリスクとなるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは、発売以来好調に推移しているふとん乾燥機にさらに機能を充実させた新製品を発売するとともに、圧力ＩＨ炊飯ジャーや省エネタイプのＶＥ電気まほうびんのモデルチェンジを実施したほか、既存商品の販売にも注力いたしました。

製品区分別の概況は次のとおりであります。

調理家電製品につきましては、国内においては、消費増税前の駆け込み需要の影響があった前年同期と比較して炊飯ジャーの市場全体の出荷数量が減少いたしましたが、当社におきましては圧力ＩＨ炊飯ジャーやＩＨ炊飯ジャーが新製品を投入した効果もあり好調に推移し、マイコン炊飯ジャーも前年実績を上回りました。加えて、免税店向けの炊飯ジャーの販売も売上増加に寄与するなど、炊飯ジャー全体として売上が増加いたしました。電気ポットは省エネタイプのＶＥ電気まほうびんを中心に売上が増加いたしました。電気調理器具ではホットプレートが新製品を中心に売上が増加し、フィッシュロースターや電気フライヤーも前年実績を上回ったほか、昨年新規投入した圧力ＩＨなべの売上への寄与もありました。海外においては、中国市場では炊飯ジャーキャンペーンなどの店頭イベントを積極的に展開し、圧力ＩＨ炊飯ジャーを中心に炊飯ジャーが好調に推移いたしました。台湾市場ではＩＨ炊飯ジャーやマイコン炊飯ジャーの売上が増加し、電気ポットも前年実績を上回りました。また、北米市場でもマイコン炊飯ジャーを中心に炊飯ジャーの売上が増加いたしました。その結果、調理家電製品の売上高は461億13百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

リビング製品につきましては、国内においては、市場全体の出荷数量増加によりステンレスマグが好調に推移し、保冷専用のステンレスクールボトルも売上が増加いたしました。また、ステンレスフードジャーは、市場の拡大傾向や需要喚起のためレシピ提案を強化したことなどにより前年実績を上回り、ステンレスマホービン全体の売上が増加いたしました。しかしながら、ガラスマホービンは市場の縮小傾向もあり、低調に推移いたしました。海外においては、中国市場では販売数量が増加したステンレスポットやステンレスマグを中心に好調に推移いたしました。また、北米、台湾でもステンレスマグやステンレスフードジャーを中心にステンレスマホービンの売上が増加いたしました。その結果、リビング製品の売上高は175億19百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

生活家電製品につきましては、空気清浄機、加湿器ともに市場全体の出荷数量が減少したこともあり前年実績を下回りました。しかしながら、お客様に好評を得ているマットとホースを使わないふとん乾燥機が新製品の投入効果もあり売上を伸ばし、新規投入した衣類乾燥除湿機の売上への寄与もありました。その結果、生活家電製品の売上高は28億１百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

また、その他製品の売上高は、グループ会社である象印ラコルト株式会社による玄米保冷庫事業が好調に推移し、12億31百万円（前年同期比39.3%増）となりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、国内においては炊飯ジャーの新製品発売などによる売上増加に加えて、訪日外国人のインバウンド消費もあり、前年同期を上回りました。また、海外においても中国をはじめ海外市場での販売が好調に推移したことで為替の影響による円換算額の増加を含めて海外売上高が増加したことにより、676億65百万円（前年同期比17.8%増）となりました。利益につきましては、売上高の増加に加え、海外での販売好調に伴う海外売上高比率の上昇や国内における炊飯ジャー全体の採算の改善などによる売上総利益率の向上もあり、営業利益は79億４百万円（前年同期比79.6%増）となりました。経常利益につきましては、83億92百万円（前年同期比71.3%増）となり、四半期純利益は51億91百万円（前年同期比87.2%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が72億53百万円増加し、負債が13億69百万円増加しました。また、純資産は58億83百万円増加いたしました。その結果、自己資本比率は1.1ポイント増加し69.9％となりました。

総資産の増加72億53百万円は、流動資産の増加61億14百万円及び固定資産の増加11億38百万円によるものであります。

流動資産の増加61億14百万円の主なものは、現金及び預金の増加69億27百万円、受取手形及び売掛金の減少14億28百万円、原材料及び貯蔵品の増加４億43百万円であります。また、固定資産の増加11億38百万円の主なものは、土地の減少２億28百万円、投資有価証券の増加９億61百万円、投資その他の資産のその他の増加３億99百万円であります。

負債の増加13億69百万円は、流動負債の減少７億83百万円及び固定負債の増加21億52百万円によるものであります。

流動負債の減少７億83百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の増加８億41百万円、１年内返済予定の長期借入金の減少15億円、未払費用の増加５億51百万円、賞与引当金の減少６億10百万円であります。また、固定負債の増加21億52百万円の主なものは、長期借入金の増加15億円、退職給付に係る負債の増加３億53百万円であります。

純資産の増加58億83百万円の主なものは、四半期純利益の計上51億91百万円、剰余金の配当の支払９億46百万円、為替換算調整勘定の増加11億96百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第３四半期連結累計期間の業績の状況をふまえ、平成27年６月22日に公表いたしました業績予想について、下記のとおり修正を行うものであります。

なお、今回の業績予想で前提としております為替レートは、前回予想時と同様、１ドル＝120円であります。

＜通期連結業績予想＞

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回予想（A）	百万円 86,000	百万円 8,600	百万円 9,300	百万円 5,800	円 85.83
今回予想（B）	89,000	9,800	10,400	6,200	91.75
増減額（B－A）	3,000	1,200	1,100	400	―
増減率（％）	3.5	14.0	11.8	6.9	―
（ご参考）前期実績 (平成26年11月期)	76,815	5,877	6,850	3,761	55.65

※なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成26年11月20日）	当第３四半期連結会計期間 （平成27年８月20日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,936	23,864
受取手形及び売掛金	12,804	11,375
電子記録債権	713	996
有価証券	600	700
商品及び製品	16,170	15,975
仕掛品	187	220
原材料及び貯蔵品	1,388	1,831
繰延税金資産	1,233	922
その他	3,238	3,507
貸倒引当金	△31	△37
流動資産合計	53,242	59,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,632	15,288
減価償却累計額	△12,258	△12,103
建物及び構築物（純額）	3,374	3,184
機械装置及び運搬具	3,407	3,520
減価償却累計額	△2,975	△3,096
機械装置及び運搬具（純額）	431	424
工具、器具及び備品	5,823	6,313
減価償却累計額	△4,433	△4,829
工具、器具及び備品（純額）	1,389	1,483
土地	7,913	7,685
リース資産	28	24
減価償却累計額	△23	△23
リース資産（純額）	4	1
建設仮勘定	197	311
有形固定資産合計	13,311	13,090
無形固定資産		
のれん	21	16
ソフトウエア	699	601
その他	908	996
無形固定資産合計	1,629	1,613
投資その他の資産		
投資有価証券	6,677	7,639
繰延税金資産	43	56
その他	476	875
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	7,184	8,559
固定資産合計	22,124	23,263
資産合計	75,367	82,620

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成26年11月20日）	当第３四半期連結会計期間 （平成27年８月20日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,482	9,323
短期借入金	－	289
1年内返済予定の長期借入金	1,500	－
未払費用	5,115	5,667
未払法人税等	1,449	1,321
繰延税金負債	249	－
賞与引当金	1,191	581
製品保証引当金	249	254
その他	653	670
流動負債合計	18,891	18,108
固定負債		
長期借入金	1,500	3,000
繰延税金負債	246	480
退職給付に係る負債	1,861	2,215
その他	304	369
固定負債合計	3,911	6,064
負債合計	22,803	24,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,163	4,163
利益剰余金	41,456	45,702
自己株式	△958	△970
株主資本合計	48,684	52,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,622	2,254
繰延ヘッジ損益	253	59
為替換算調整勘定	871	2,068
退職給付に係る調整累計額	400	431
その他の包括利益累計額合計	3,148	4,813
少数株主持分	730	716
純資産合計	52,563	58,447
負債純資産合計	75,367	82,620

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年11月21日 至 平成26年８月20日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年11月21日 至 平成27年８月20日）
売上高	57,442	67,665
売上原価	39,300	44,867
売上総利益	18,142	22,798
販売費及び一般管理費	13,739	14,894
営業利益	4,402	7,904
営業外収益		
受取利息	43	60
受取配当金	95	99
持分法による投資利益	265	403
受取賃貸料	135	78
為替差益	298	92
その他	83	153
営業外収益合計	922	889
営業外費用		
支払利息	43	30
売上割引	310	320
その他	70	49
営業外費用合計	424	401
経常利益	4,900	8,392
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	－
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	－	76
固定資産除却損	9	40
減損損失	686	178
その他	－	1
特別損失合計	696	297
税金等調整前四半期純利益	4,205	8,096
法人税、住民税及び事業税	1,192	2,620
法人税等調整額	144	252
法人税等合計	1,337	2,873
少数株主損益調整前四半期純利益	2,867	5,222
少数株主利益	94	31
四半期純利益	2,772	5,191

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年11月21日 至 平成26年８月20日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年11月21日 至 平成27年８月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,867	5,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	632
繰延ヘッジ損益	△90	△194
為替換算調整勘定	228	1,215
退職給付に係る調整額	12	30
持分法適用会社に対する持分相当額	5	83
その他の包括利益合計	167	1,766
四半期包括利益	3,034	6,989
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,916	6,856
少数株主に係る四半期包括利益	118	132

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第３四半期連結累計期間（自　平成25年11月21日　至　平成26年８月20日）

当社グループは、家庭用品等の製造、販売ならびに、これらの付随業務を営んでおりますが、家庭用品以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成26年11月21日　至　平成27年８月20日）

当社グループは、家庭用品等の製造、販売ならびに、これらの付随業務を営んでおりますが、家庭用品以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

４．補足情報

（１）所在地別業績

前第３四半期連結累計期間(自　平成25年11月21日　至　平成26年８月20日)

（単位：百万円）

	日本	アジア	北米	計	その他	合計
売上高						
外部顧客への売上高	42,335	11,141	3,964	57,442	―	57,442
所在地間の内部売上高又は振替高	6,819	4,379	0	11,199	(11,199)	―
計	49,155	15,521	3,965	68,642	(11,199)	57,442
営業利益	1,876	1,686	208	3,771	630	4,402

当第３四半期連結累計期間(自　平成26年11月21日　至　平成27年８月20日)

（単位：百万円）

	日本	アジア	北米	計	その他	合計
売上高						
外部顧客への売上高	46,553	15,998	5,114	67,665	―	67,665
所在地間の内部売上高又は振替高	10,305	5,159	0	15,464	(15,464)	―
計	56,858	21,157	5,114	83,130	(15,464)	67,665
営業利益	4,765	2,707	436	7,910	(5)	7,904

（２）海外売上高

前第３四半期連結累計期間(自　平成25年11月21日　至　平成26年８月20日)

	アジア	北米	欧州	中近東	その他	計
Ⅰ　海外売上高(百万円)	11,744	3,900	78	424	73	16,221
Ⅱ　連結売上高(百万円)						57,442
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	20.4	6.8	0.1	0.7	0.1	28.2

当第３四半期連結累計期間(自　平成26年11月21日　至　平成27年８月20日)

	アジア	北米	欧州	中近東	その他	計
Ⅰ　海外売上高(百万円)	16,800	5,067	76	347	84	22,376
Ⅱ　連結売上高(百万円)						67,665
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	24.8	7.5	0.1	0.5	0.1	33.1

（３）生産、受注及び販売の状況

当社グループは、家庭用品等の製造、販売ならびに、これらの付随業務を営んでおりますが、家庭用品以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント別の生産実績及び販売実績の記載は行っておりません。

なお、生産実績及び販売実績を製品区分別に記載すると以下のとおりであります。

①生産実績

前第３四半期連結累計期間(自　平成25年11月21日　至　平成26年８月20日)

製品区分	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
調理家電製品	26,355	4.1
リビング製品	8,254	25.1
生活家電製品	2,125	109.9
その他製品	209	40.1
合計	36,945	11.7

（注）１．金額は製造原価により表示しております。
　　　２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第３四半期連結累計期間(自　平成26年11月21日　至　平成27年８月20日)

製品区分	生産高（百万円）	前年同期比（%）
調理家電製品	29,488	11.9
リビング製品	10,466	26.8
生活家電製品	2,526	18.9
その他製品	106	△48.9
合計	42,588	15.3

（注）１．金額は製造原価により表示しております。
　　　２．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当社グループは、原則として見込生産であります。

③販売実績

前第３四半期連結累計期間(自　平成25年11月21日　至　平成26年８月20日)

製品区分	販売高（百万円）	前年同四半期比（%）
調理家電製品	39,859	11.6
リビング製品	14,138	24.0
生活家電製品	2,561	91.5
その他製品	883	51.5
合計	57,442	17.2

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第３四半期連結累計期間(自　平成26年11月21日　至　平成27年８月20日)

製品区分	販売高（百万円）	前年同期比（%）
調理家電製品	46,113	15.7
リビング製品	17,519	23.9
生活家電製品	2,801	9.4
その他製品	1,231	39.3
合計	67,665	17.8

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。